

議長／皆さん、おはようございます。

ただいまより、平成 29 年 3 月武雄市議会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

市長から提出されました、第 1 号議案から第 28 号議案までの 28 議案を一括上程いたします。

日程第 1 会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。

松尾初秋議会運営委員長

松尾議会運営委員長／皆さん、おはようございます。

平成 29 年 3 月武雄市議会定例会に招集に基づきまして、議長から諮問がありましたので、2 月 27 日議会運営委員会を開催し、協議いたしました結果について御報告申し上げます。議長から諮問がありました事項は、第 1. 会期及び会期日程について、第 2. 付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第 3. 一般質問の質問順序について、第 4. 各特別委員会の中間報告について、以上 4 項目でございます。

本定例会において審議すべき議案等は、ただいま議長から上程になりました、条例議案 9 件、事件議案 3 件、予算議案 16 件の計 28 件でございます。

なお、追加議案として、人事案件 2 件が予定されております。

また、議員提出議案として、組織見直しに伴う委員会条例の一部の改正議案の提出を予定しております。

次に、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございます。

第 13 号議案平成 28 年度武雄市一般会計補正予算(第 10 回)及び第 20 号議案平成 29 年度武雄市一般会計予算につきましては、所管の常任委員会に分割して付託、その他の議案につきましては、所管の常任委員会に付託することと、議案番号順に審議を行うこととして差し支えない旨、意見の一致をみました。

次に、一般質問でございます。

18 名の議員から 66 項目の通告がなされており、抽選結果はお手元の配付のとおりです。

7 日から 13 日までの間に、10 日から 12 日までを休会とし、質問順序は抽選番号順に、7 日、8 日はそれぞれ 5 名、9 日、13 日はそれぞれ 4 名で、実質 4 日間の日程とし、午前 9 時の開議として行うことを決定いたしました。

質問時間につきましては、答弁を含め 60 分であります。

次に各特別委員会の中間報告の件でございますが、3 月 14 日議案審議に先立ち、報告を行っていただくことになりました。

各特別委員長におかれては、よろしくお願い申し上げます。

以上のことを考慮し、検討いたしました結果、会期は、本日 2 月 28 日から 3 月 21 日まで

22 日間が適当である旨、決定をいたしました。

なお、日程等の詳細については、お手元の配布のとおりでございます。

答申は以上であります。

議長／お諮りいたします。

会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日 28 日から 3 月 21 日までの 22 日間と決定いたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

> 異議なし

江原議員／議長

議長／23 番 江原議員

江原議員／ひと言、議長そして議会運営委員会、開催(?)。

よかですか？

今期ですね、3 年目を迎えるわけですが、今議運委員長から提案ありましたように議事日程の日数の問題ですけれども、2 つあるんですが、1 つ審議日数、議案審議ですね、これが以前 2 日あったのが 1 日提案です。

2 つ目は常任委員会の日程ですが、以前 3 日あったのが 2 日になっています。

特に今期、3 月議会等にしましても予算審議です。

約 250 億円、その他特別会計を入れますと約 400 億。

そのことを考えますと議事日程のあり方について、以前合併して 1 期目、2 期目のケースと今期 3 期目のケースが違うという意味では、私は議長そして議会運営委員会の皆さん方にも含めてやっぱり日程の取り方については、もっと十分審議できる時間を確保するべきだと申し上げておきたいと思います。

議長、よろしく取り計らいをお願いしたいと思います。

議長／ちょっと、今の質問も議事進行かどうかわかりませんが、議長に取り計らえということでございますけれども、議案数とかいろんなことを鑑みて委員長会、議会運営委員でもいろいろ協議していただいております。

特に委員長会でも委員会に付託する案件、数、こういったものを考慮して 2 日間で委員会いいですかということで、委員長会でもいろいろ協議していただいて、それを受けて議会運営委員のほうに日程等は答申をさせていただいております。

これからこういったことがもう少し、もう一日ぐらい必要となってくる場合は、また議会

改革、あるいは議会運営委員会等でも協議させていただきたいと思いますが、今回の件につきましては、議会運営委員会でも決定を認めておりますので御了解をいただきたいと思います。

議事進行をお願いします。

21 番 松尾初秋議員

松尾初秋議員／審査をしてですよ、今、江原議員からちょっと話がございましたけども、3月の17日事務整理日。

この日も委員会を足らんならこの辺も開けるように、一応調整日ということでそういうふうな話をして、議運では意見の一致をみたところでございますので、議長取扱いよろしくをお願いします。

山口昌宏議員／議長、議事進行。

議長／18 番 山口昌宏議員

山口昌宏議員／議長にちょっとお尋ねですけども、議会の議事進行権がある以上ですね、議事進行としてびしゃっとしてももらえれば幸いですけれども、何かなんだかわからないような議長と手を挙げてそのまま来られては、議会の権威に関わることだと思うんですよ。その辺についてはですね、びしゃっと精査をしていただきたい。

それと先ほどの江原議員の話の中でありましたけど、委員長会でですね、じゃあこれでもいいのですかと、この会期日程でいいのですかというのを確実に決めて、その後に議運で各会派の皆さん方々よって議運を開いて、それではこれでいいですねという方向で、今回の議会が決定されたと思うんですよ、会期日程を含めて。

その辺についてですね、議長としてびしゃっと精査をしていただきたい。

いかがですか？

議長／今松尾初秋議員、山口昌宏議員、両議員からも議事進行出ましたけれども、江原議員の先ほどの質問につきましては、なかなか議事録にも残しがたい点もあります。

今後はですね、議事進行として皆さん方に発言をしていただきたいと思います。

そうですね、議事進行として。

これが議会のあり方だと思っております。

そして先ほど申しましたように委員長会、議長運営委員会で会期日程、付託案件の要否、この件につきましては慎重に審議していただいて結果が出ているということでございます。そういったことも意見があったということは、次の議会運営委員会でも委員長会でもお話をさせていただきたいと思いますが、ルールに則って進めていただきたいと思いますというよう

に思っております。

そしてもう一つ、ここで訂正をお願いしたいと思います。

皆さん方に武雄市議会定例会会期日程案、会期日程としてただいま御承認いただくように発言しているところでございますけども、日時の14日次本会議午後9時となっておりますが、午前9時の開議です。

3月13日の本会議は午後9時となっておりますが、午前9時。

ミスプリントのようですが、よろしく訂正をお願いしたいと思います。

会期の決定につきましては、28日から3月21日までの22日間と決定いたしたいと思えます。

これに御異議ございませんか。

>異議なし

御異議なしと認めます。

よって本定例会の会期は、本日28日から3月21日までの22日間とすることに決定をいたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第88条の規定により、15番末藤議員、18番山口昌宏議員、21番松尾初秋議員の以上3名を指名いたします。

日程第3 議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告については、お手元に配付いたしております文書をもって報告にかえさせていただきます。

日程第4 市長の提案事項に関する説明を求めます。

小松市長

小松市長／おはようございます。

本定例会の開会にあたり、私から提案事項を説明させていただきます。

まず雇用創出等についてであります。

「武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げるように、雇用創出と市民所得の向上は重要なテーマであり、定住・移住を進める上でも雇用の創出は最重要課題であります。

本年4月から営業部商工課に「雇用創出係」を新設し、働きたい女性のための再就職支援事業や、柔軟な働き方「在宅ワーク」研修事業、障がい者の雇用支援、就労支援など子育て世代の女性や高齢者、障がい者など、さまざまな年代やライフスタイルに応じた働き方ができる環境をつくってまいります。

また、人と仕事のマッチングや就労支援、トレーニングファームによる新規就農支援など、雇用創出の拡大に取り組めます。

なお、市内工業団地の完売に伴い、新たな工業団地の候補地を調査した結果、東川登地区を候補地として選定いたしました。

今後佐賀県とともに新たな工業団地の整備を推進し、さらなる雇用の拡大に努めてまいります。

観光振興では、陶芸体験など従来の伝統産業体験観光に加え、さがびよりオーナー制度や、農業体験、伝統芸能体験、三夜待体験等の「武雄版アクティビティ観光事業」を推進し、インバウンドの強化も含め、交流人口 200 万人を目指してまいります。

次に、福祉の充実についてであります。

3 役を含む市職員全員がユニバーサルマナー検定 3 級の取得に向け、研修を受講しております。

どのような立場でも境遇でも、すべての方に未来があり、自分らしく、幸せを感じて暮らせるまちを武雄市は目指します。

まちは人がつくるものであり、人の意識と行動が変わればまちは確実に変わります。

武雄市職員が模範となるような行動をとることで、武雄市がこれまで以上に住んでいる人も訪れる人にも温かく、やさしいまちとなるよう進めてまいります。

本年 4 月から市内で小児時間外診療 365 日体制を実施いたします。

あわせて、子どもの医療助成事業については、申請手続きが不要となるよう現物支給化を実施するなど、子育て環境のさらなる充実を図ります。

また、地域包括ケアシステムの確実な構築や、健康ポイント事業の推進による健康寿命延伸の取り組みなど、まさに福祉という言葉が意味するように、生まれてくる子から高齢者まで、だれもが住みやすいまちとなるよう、本年 4 月に新設する「福祉部」において、市民福祉のさらなる向上に努めてまいります。

子育て・教育についてであります。

去る 1 月 8 日に武雄市図書館・歴史資料館の来館者が、リニューアルオープン後 4 年を待たずに 300 万人を突破いたしました。

これもひとえに議員の皆様、市民の皆様の深い御理解の賜物と感謝申し上げます。

今後も利用者ニーズに応えるため、課題であった学習席を倍増し、あわせて語学講座やワークショップの開催など「幅広い学びの場」とすることで、図書館に新たな価値を創出します。

本年 10 月にオープンする「こども図書館」とあわせ、さらに魅力をアップさせ、周辺一帯を子育て・教育の拠点といたします。

子どもの貧困対策につきましては、先般、子どもの生活実態調査を実施いたしました。

武雄市独自の指標に基づき分析した結果、調査対象世帯の 19%がいわゆる経済的要因だけではなく、養育に対し困難度が高い世帯と判明しました。

いわば、子どもの貧困とは、子どもの孤立などに起因する「心の貧困」の側面も大きいと考えております。

この調査結果をもとに、武雄市では貧困になる前の早い段階での支援、妊娠出産から進学まで、一人の子を同じ人がずっと伴走して支える伴走型支援、各成長段階でのつなぎの支援を実施してまいります。

具体的には、切れ目のない支援を行うための「こども笑顔コーディネーターの設置」、小中学校就学前の新入学用品費の増額や全国初となる高校進学等への準備金を支給する「就学支援金の拡充」、「放課後等での学習支援」などの予算案を今議会に計上いたしております。今後、「武雄市子ども未来応援計画」を策定し、すべての子どもたちの希望の実現に向けて、ライフステージにあった切れ目のない支援体制を確立するとともに、きめ細やかな施策を展開してまいります。

最後になります。

私の就任以来、まさに大きな右腕として御活躍いただいた前田副市長でございますが、今月 20 日に一身上の都合と、後身に道を譲りたいとの理由で本年 3 月 31 日をもって退職したい旨の退職届が私宛て提出されましたことを、まずもって御報告させていただきます。前田副市長におかれましては、若輩者である私のよき相談者でありました。

いつもの確かなアドバイスをしていただき、またときには叱咤激励もいただいたところであります。

私の気持ちといたしましては、まだまだ多くのことを教えていただき、一緒になって汗をかいていただきたいところではございますが、このたびは御本人のお気持ちを尊重させていただくことといたしました。

前田副市長のこれまでの数多くの功績に対し、深く敬意を表したいと思います。

なお後任の副市長につきましては、すみやかに人選を行い今会議最終日に人事案件として追加提案させていただきたいと考えております。

何とぞ議員各位の御理解・御協力を切にお願い申し上げ、以上もちまして私の提案事項説明とさせていただきます。

本議会も、どうぞよろしくお願いいたします。

議長／北川総務部長

北川総務部長／おはようございます。

副市長欠席でございますので、私のほうから今定例会に提出しております議案について、その概要を御説明申し上げます。

まず、条例議案について御説明いたします。

「武雄市犯罪被害者等支援条例」は、犯罪被害者等が受けた被害の軽減及び回復を図り、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため、新たに制定をするものであります。

「武雄市競輪施設整備基金条例」は、武雄競輪施設の整備に要する経費に充てるため、基

金を設置するものであります。

「武雄市税条例等の一部を改正する条例」は、地方税法の一部改正に伴い、軽自動車税の課税方法等について改正するものであります。

「武雄市手数料条例の一部を改正する条例」及び「武雄市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」は、窓口での各種証明及びごみ袋の手数料を見直すものであります。

次に、「武雄地区休日急患センター設置条例の一部を改正する条例」は、これまで診療を行っていなかった火曜日、水曜日も診療を実施することにより、小児の時間外診療について365日体制を整備するものであります。

その他一部改正条例3件を提案いたしております。

次に、事件議案については、地方自治法の規定に基づく「訴えの提起について」と道路法の規定に基づく「市道路線の認定について」及び「市道路線の変更について」、それぞれ議会の議決をお願いするものであります。

続きまして、予算議案について主なものを御説明申し上げます。

新年度の予算議案につきましては、平成29年度一般会計予算のほか、5件の特別会計と3件の企業会計の予算を提出いたしております。

一般会計の主なものとして、ソフト事業では、雇用対策事業、こどもの貧困対策事業、地域包括ケアシステムの構築事業など、「武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた目標の実現に向けた事業費を計上いたしております。

またハード事業では、新庁舎建設事業、市営大野住宅建替事業など施設の老朽化対策に係る事業費やこども図書館建設事業費、小学校普通教室空調設置に係る設計業務委託料等の経費を計上いたしております。

平成28年度までは特別会計で計上しておりました下水道事業については、平成29年度から公営企業会計へ移行いたします。

次に、平成28年度補正予算議案では、平成28年度一般会計補正予算(第10回)のほか、特別会計補正予算6件の予算を提案いたしております。

一般会計では、国の補助金が29年度事業の前倒しで措置されたことに伴いまして、トレーニングファーム事業、北方小学校及び武雄北中学校の施設整備事業の経費を計上いたしております。

また、国県の支出金の確定あるいは年度内の執行見込みに基づく事業費の増減などの補正予算を計上いたしております。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

議長／日程第5 教育長の教育に関する報告を求めます。

浦郷教育長

浦郷教育長／おはようございます。

教育に関する報告を申し上げます。

はじめに、学校教育について申し上げます。

公開授業・オープンデーにつきましては、ICT 教育と武雄花まる学園関連で、1 年間に 19 回行い、延べ 2000 人以上の方が授業を参観されました。

官民一体型学校づくりでは、西川登小学校において、職員だけでなく児童を含めた事前演習が行われており、4 月開校に向けての準備がなされているところです。

平成 29 年 4 月からは市内 6 校での実施となります。

ICT 教育では、1 月 24 日に武雄小学校で、東洋大学と連携したシンポジウムを行いました。

また、スクールチャレンジ事業の活用により、105 台の人型ロボット Pepper（ペッパー）をソフトバンクから 3 年間無償貸与される予定であり、今後プログラミング教育や学校生活の中で活用していくことを考えております。

学校施設では、山内西小学校の屋内運動場が 1 月末に完成しており、2 月から使用しています。

卒業式・入学式は、新しい体育館で行われます。

次に、子育てについてです。

子育て総合支援センターでは、2 月 22 日に子育て支援者交流会を開催し、地域の方々がこれからの子育て支援についての意見交換を行い、相互の連携を深めました。

続きまして、生涯学習について申し上げます。

1 月 3 日の成人式には新成人 498 人が集い、実行委員の運営で盛大に開催することができました。

青少年教育としましては、「わんぱくスクールミステリーツアー」、「北海道雄武町での児童交流」等で、子どもたちは厳しい寒さを体験しながら交流を深めてまいりました。

2 月 19 日開催の「第 11 回トムソーヤ・フェスティバル」では、子どもたちが学校や地域での活動を元気に発表してくれました。

また、今回は武雄花まる学園の取り組みとして、花まるタイムの実践と討論会も行っております。

スポーツ関連では、12 月 10 日に関西大学との交流事業として「陸上教室」を行っております。

また、2 月 17 日から 19 日まで行われた「第 57 回郡市対抗県内一周駅伝大会」では、武雄市選手団は選手・役員が一丸となって健闘され、総合で第 11 位でありました。

後に続く選手の養成が急務だと考えております。

自主文化事業では、1 月 14 日に「宝くじ文化公演桂文枝独演会」、1 月 28 日には「人形劇 ひょっこりひょうたん島オンステージ」を開催したところ、幅広い年齢層の方に御鑑賞いただきました。

文化財関係では、1 月 26 日に武雄温泉周辺での文化財火災防御訓練を行い、消防署・消防



団が連携した実践形式での中継訓練を披露していただきました。

図書館・歴史資料館につきましては、平成 25 年 4 月のリニューアルオープン以来、来館者数 300 万人を達成したことを記念し、1 月 8 日にセレモニーを開催しております。

多くの方々に御利用いただき感謝申し上げます。

企画展では、12 月 24 日から 2 月 5 日まで「スゴロク図書館」を開催し、多くの方々が来館されました。

こども図書館につきましては、10 月の開館に向けたプレイベント第 1 弾として、2 月 26 日に九州大学大学院の佐藤剛史先生をお迎えして、「子どもの心と学力をはぐくむ食卓の力」と題した市長対談を開催し、食と子育ての関係について考えるいい機会となりました。

以上、教育に関する報告をいたしました。

主な行事等につきましては、別紙一覧表にお示ししたとおりであります。

今後とも、更なる御指導・御鞭撻をお願い申し上げまして、教育に対する報告とさせていただきます。

議長／以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

どうもおつかれさまでした。